



【「井波を感じてみません課」: 追究学習・ふるさと学習】

- 6年生は、6月から「井波を感じてみません課」の学習を進め、3学期まで続ける予定です。6月中旬に地域の方から「井波の発展」について話を聴き、自分の本当に追究したいことを見付けるまで、3回の「探険」と「聴き合い学習」を行います。現在、2回の探険を終え、昨日は、「3回目の探険に向けて何を見るのか、何を聴くのか」について聴き合いました。
- 「井波教育」には、「**生き方学習**」と「**ふるさと学習**」があり、そのために、「**井波学①: 追究学習**」「**井波学②: ふるさと学習**」があります。この6年の「井波を感じてみません課」の学習は、まさに「**追究学習**」であり、「**ふるさと学習**」です。自分で本当に追究したい課題を見付けるのに、どれだけの時間やそのための活動が必要か、6年生が教えてくれています。「**学習は個において成立する**」のです。
- 昨日、「井波で作っている〇〇の商品について調べたい。」「それは、意味がないよ。商品を作っている人の思いを調べた方がいいよ。」「でも、結局は、買ってもらうためには、人の思いより、よい商品ということが重要だよ。」・・・それらの発言を聴いて、子供たちは自分の調べたいことを今まで以上に強くもったり、違う立場の考えを聴いて見直したりしていました。まさに、「**聴き合い学習**」は、「**他を契機に自分を見つめ、次に歩み出す学習**」であることも、子供たちは教えてくれました。
- また、先生から提示された「調べ方」を参考に、子供たちは取り組んでいます。例えば、「電話による情報収集の仕方」「アンケート調査による情報収集」など、子供は**基本的な学び方**を知ることが必要です。これは、「**一人学習（個別最適な学び）**」を行うための前提条件です。さらには、6年学年ルームには、各種の資料が用意されており、「一人学習」のための**環境づくり**もしています。
- 今後の6年生の追究が楽しみです。

